

福島県労連

2026年3月15日 Vol. 307(3月号)

発行／福島県労働組合総連合

〒960-8061 福島市五月町 2-5 一番丁ビル

TEL:024(522)3097 FAX:024(522)3102

Email:fkstoren@soleil.ocn.ne.jp

URL:<https://fkstoren.org/>

「対話と学び合い」で組合を強くする! ～「ミニミニレバカレ福島版 Vol.1」を開催～



グランドルールについて講演する全労連の竹下事務局次長

福島県労連は、2月14日(土)に二本松市で「ミニミニレバカレ福島版 Vol.1」を開催。単産・単組・地域組織の執行委員・役員17名が参加し、「組合活動の活性化」をテーマに学び合いました。

講演では、全労連の竹下武事務局次長を講師に、昨年10月に開催され、700人以上が参加した「レイバー・ユニオン・カレッジ2025」で重視された「グランドルール(対話と学び合いの約束ごと)」について学びました。

竹下事務局次長は、グランドルールの意義について、「誹謗中傷やハラスメントを排し、心理的安全性を確保することで、一方的な報告から双方向の対話へと転換。互いを尊重



グランドルールを意識しながらのグループ交流の様子

し学び合う組織文化の構築が、労働者が日常的に声を上げられる強い組織づくりにつながる」と訴えました。

グループ交流では、各組織の会議運営の現状が悩みを交流しました。月1回の定例開催の継続、司会交代制、会議前に議案送付、全員発言の徹底などの実践に加え、誕生日プレゼントを用意して「心理的安全性が保たれ、自然と意見が出る雰囲気」を大切にする努力も紹介されました。一方で、発言者の固定化や否定的な意見による議論の停滞、結論が出ないままの散会といった悩みも共有され、「来てよかつたと思える会議」にするための主体的な参加について議論されました。

要求書づくりや組織拡大の交流

では、オンラインフォームを活用した意見集約や定期協議による要求前進の実践が報告される一方で、少数職場の声の拾い方や現場との距離感、加入後のフォロー体制といった課題も浮き彫りになりました。

参加者からは「他労組の奮闘に勇気をもたらった」「悩みを共有できて楽しかった」などの感想や自分の職場のグランドルール作りや成功体験の共有をすすめる決意も語られました。

対話が変われば組合が変わり、それが要求を前進させ、仲間を増やす力になります。今回の学びを各職場へ持ち帰り、執行委員・役員が先頭に立って春闘勝利へとつなげていきましょう。

4月9日(木)は、最低賃金引き上げめざすビックアクションデー!
職場、地域の行動に参加しましょう!

東日本大震災・東京電力福島第一原発事故から15年 福島さくら農協労組・國分孝浩さんに聞きました



■日常が崩れた瞬間

私は現在46歳、福島さくら農協の葛尾支店で支店長を務めています。震災当時は双葉町にある父の持ち家に、両親と祖母の家族4人で暮らしていました。職場は浪江支店の共済窓口です。あの日も、いつものように利用者対応をしていました。

激震に襲われたのは、そんな日常の最中でした。事務所の中は物が散乱してぐちゃぐちゃになり、すぐに「津波が来る」という一報が入りました。支店長だけを一人残し、私たちは必死に高台へと避難しました。

■先行きの見えない不安の中で

震災直後の3月は、避難所で待機する日々が続きました。当初は職場とも全く連絡が取れず、たまに支店長から必要最低限の連絡が来る程度。その後は千葉に住む弟の元へ身を寄せましたが、「今後どうなるのか」という先行きが全く見えないことが、何よりも不安でした。

仕事動き出したのは、5月の連休前です。福島市に職員が集められ、それぞれの配属先が割り振

られました。私は5月連休明けから、埼玉県に開設されたサポートセンターでの勤務となりました。

お手本になる仕組みをしっかりと作れないか、実体験をただの記憶に留めるのではなく、具体的な仕組みとして形にすることができないかと思っています。

あれから15年。家族の形も変わりました。共に避難した母と祖母は、震災後に他界しました。父は現在、双葉町に戻って生活していますが、私は今も郡山市の借り上げ住宅に住んでいます。実家はもう取り壊してしまいました。正直なところ、私が双葉に戻る予定は今のところありません。震災前から風景がすっかり変わってしま

災害はいつ起こるかわかりません。年に1回でもいい。起きたときに自分はどう行動すべきか、一人ひとりが自分の心を見つめ直してほしい。それが、あの日を経験した私から伝えたい、切実な願いです。

い、思い出までもがだんだんと薄れていくような寂しさはあります。けれど、そんな中で新しいものを受け入れていく。それが自分の中でやっていかなければならないことだと思っています。

■震災の記憶を未来の仕組みに

震災と原発事故という「ダブルパンチ」を経験したのは、福島に他ありません。だからこそ、私は今強く感じていることがあります。

もし方が一、他の県や地域で災害が起きたとき、「福島の農協はこうやって動き、こうやって復興してきたんだよ」と示せるような、

(聞き手 県労連事務局 添田雅弥)



3月7日、東京・代々木公園で「とめよう原発！3・7全国集会」が開かれ、全国から8500人、ふくしま復興共同センターから40人が参加。集会後にパレードも行い、「原発事故は終わっていない」「原発ゼロ」「再エネ推進」を訴えました。



福島県労連は3月4日、賃上げと中小企業支援について、経営者団体を訪問し要請しました。写真は福島県経営者協会の板橋正治専務理事(右端)に要請する野木茂雄県労連議長(中央)、笠原浩郡山地方労連議長(左端)。



福島県労連、福島地方労連が「憲法カフェ・どうする？どうなる？40年ぶりの労働基準法「改正」」を開催(2月26日、福島市)。倉持恵弁護士が労働基準法改正で検討されている内容には、労働者の不利益になる、さまざまな「落とし穴」があることを強調しました。



自治労連福島県本部は、2月21日、郡山市で「第67回中央委員会」を開催。組織拡大を中心に議論し、今年の拡大目標などを意思統一しました。

春闘前進へ！

「ローカルビッグアクション」 アピール写真コンテスト

結果発表～！



【講評】「お面がよい」「なぜこの格好？というのがありますが、仮装してくれたのでよかったです」他



グランプリ
会津地方労連のみなさん

福島県労連と各地方労連は、2026春闘で「すべての労働者の大幅賃上げ・底上げ」を実現するため、1月31日（土）を中心に「ローカルビッグアクション」にとりくみました（県内7地域での行動に65人が参加）。それにあわせて「アピール写真コンテスト」を開催。9つの組織から応募があり、3月5

佳作（3組織）



福島地方労連のみなさん



岩瀬・須賀川地方労連のみなさん



郡山地方労連のみなさん



優秀賞
（2組織）
福祉保育労組福島支部のみなさん
白河地方労連のみなさん



【講評】
「大きな横幕を用いてわかりやすい」「子どもも参加」「職場単位で参加してくれたので」他

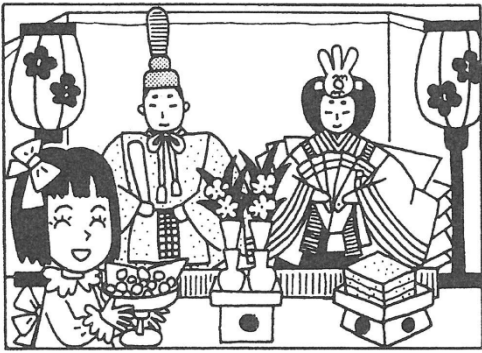


【講評】
「雨の中の奮闘にエール」「元気にアピールしている様子が伝わる」他

日に開かれた「福島県労連第8回幹事会」で厳正なる審査を行った結果、このような結果となりました！
ご参加くださったみなさん、ありがとうございました。入賞されたみなさん、おめでとうございます！

表彰は8月2日（日）開催予定の「福島県労連第38回定期大会」で行います。

アメリカ・イスラエルは イラン攻撃を中止せよ!



まちがいは7つ



福島県憲法共同センターによる「イラン攻撃中止」を
求める宣伝行動(3月9日、福島市)

2月28日に開始された、アメリカとイスラエルによるイラン攻撃は、国連憲章と国際法に違反する乱暴な先制攻撃です。「イランへの軍事攻撃はただちに中止せよ」「国際法にもとづく外交で解決を」の声を上げましょう。

「最低生計費試算調査」アンケートにご協力ください

2026年版「最低生計費試算調査」の見直しにあたり、アンケートへのご協力をお願いします。「最低生計費試算調査」は、「健康で文化的な最低限度の生活」を送るために必要な生活費を科学的に明らかにするものです。これまで2016年の調査を基に試算を行い、2022年には物価上昇や生活スタイルの変化を踏まえた見直しを実施しました。近年は食料品をはじめ物価高騰が続いていることから、2026年版の作成に向けて再度アンケートを行います。結果は最低賃金引き上げなどの資料として活用します。アンケートにご協力いただける方は、**3月22日(日)**までにQRコードからご回答をお願いいたします。



応募のしかた

正解者5名に

図書カード当たります!

応募はハガキ(メールも可)に、①クイズの答え、②氏名(ふりがなも)、③住所、④所属労組名、⑤ひとことを必ず(必要な方はペンネームも)書き添えてご応募ください。締め切りは4月15日です。抽選で5名の方に図書カードをプレゼントします。

305号(1月号)の

クイズの答えと当選者

答えは①ネコのひげ②毛糸のあみ棒③座布団④女性の前髪⑤男性の襟元⑥みかんの重なり⑦こたつ布団の右端でした。応募者は17名で全員が正解。次の方に図書カードを送ります。

- | | |
|---------|---------|
| ◇ケンミキさん | こだま交通労組 |
| ◇ナマステさん | 医労連 |
| ◇赤べこさん | 会津地方労連 |
| ◇しろくまさん | 会津地方労連 |
| ◇だちんさん | みやぎ生協労組 |
| ◇はくさんさん | 福厚労協分会 |
| ◇チシロさん | 福厚労協分会 |
| ◇春よ来いさん | 県立校教組 |
| ◇パニラさん | 建交労 |
| ◇四五郎さん | 二本松市職労 |

自動車共済

まずはFAXで見積りを! 割安な共済掛金、補償は充実! 等級別割引・割増の継承ができる!

全労連共済 お申し込み・お問い合わせは各共済会へ

聞いて聞いて 私の思いみんなの願い

☆我が家のプランター、チューリップの芽が顔を出しました。確実に春が近づいてきてますね。
(大原病院労組 しんこさん)

☆食費だけでも早く消費税0にしてほしい。
(寿泉堂労組 くらみつさん)

☆政権与党は数の力に奢ることなく、国民のため日本のために働いてほしい。
(みやぎ生協労組 だちんさん)

☆M1グランプリ感動しました
(二本松市職労 たくろーさん)

☆スギ、ヒノキの花粉に加え、PM2.5と黄砂の飛来。これ以上苦しめないで!!
(みやぎ生協労組 カビゴマさん)

☆今年のは寒い冬ですけどだんだんと春の日差しになってきましたネ。
(こだま交通労組 ケンミキさん)

☆認知症予防です
(建交労福島県農林支部 コスモスさん)

☆病院が診療所になります。組合活動も縮小され、ほとんど活動できなくなりそうで不安です。人生色々あるけどまたおきあがって頑張ろう!!
(会津地方労連 おきあがり小法師さん)

☆春の訪れを感じるようになってきましたね。
(福島県医労連 ホエイさん)

☆人手不足で心身共につかれています...
(福厚労協分会 かめさん)